

やまがた 赤い羽根通信【第2号】

社会福祉法人山形県共同募金会 ☎ 023-622-5482



YY ボランティアと 連携し、支援しよう！

山形県は中・高校生ボランティアの先進地で、地域の青少年が学校の枠を超えて活動するボランティアサークルが相当数あり、「YY ボランティア」と総称されています。

なお、「YY」は、「やまがた」「ヤング」「わいわいにぎやかに活動する」を意味しています。

先ごろ、YY ボランティアの事務局である山形県青年の家を訪問し、ボランティア活動の状況を確認するとともに、今後の協力の方向性について協議してきました。

48 を数えるサークルの活動内容はさまざまであり、詳しくは山形県青年の家が作成した「YY ボランティアビューロ」のホームページをご覧くださいと思いますが、活動に当たって交通費や資材等にかかる経費を自己負担しているケースが多いとのことでした。

私たちが携わっている共同募金は「支える人を支える募金」が本旨ですので、今後その活動を支援していきたいと考えております。広域配分での支援も検討していきますが、是非市町村募金会でも地域配分で若者のボランティア活動への支援を前向きに検討くださるようお願いします。

社会福祉協議会においては、サークルの窓口の役割を担ったり、彼らと協力して活動している例もみられるようです。

また、募金活動にあたり、地元サークルから協力してもらっている募金委員会もいくつかあるようですが、募金活動を含めて今後いろいろな形でのコラボが想定されますので、それぞれの地域課題を踏まえ、ご検討・声かけ情報交換していただければと思います。



【YY ボランティア活躍の状況】



赤い羽根募金ボランティア



災害ボランティア(戸沢村)



第14回赤い羽根全国ミーティング 「じぶんの町を良くする会議」に 参加して

7月8日(火)～9日(水)に東京都において標記
全国ミーティングが開催されました。

本県から参加された5名の方々の感想等を以下
のとおりご紹介します。

昨年度から共募に携わらせていただいておりますが、分からないことや不安なことも多くありましたが、今回の全国ミーティングを通して、地域を良くする熱意のようなものを受け取ったような気がしました。

大石田町共同募金委員会
地域福祉推進員 伊藤 輝



一人でできることは限られているが、人と人がつながることで新しいことが生まれてくるということを事例を通じて実感した。ニーズに気づくことができる目と軽いフットワークを自分のものとしたと感じました。そしてみんなで楽しく仕事ができる仕組み作りをしていければと思う。他市町村の様々な取り組みに触れることで良い刺激となった。また、共同募金の仕組みなどわからないところも多かったので勉強になった。

南陽市の活動の参考にさせていただきたいと思います。

南陽市社会福祉協議会総務係長
(生活自立支援センター長) 後藤あずさ



全体会



分科会(新任者)



分科会(広報)



分科会(募金)

活動を周知することをよくPRと言いますが、PRとはPublic Relationsの略であり、一方通行の情報提供で終わるのではなく、双方の理解があって初めてPRを行ったと言えるのだと学びました。今後は、一方的なお願いで終わってしまうのではなく、お互いにコミュニケーションを取り合い共同募金について理解を深め次に繋げていけるような活動を行っていきたいと思います。

新庄市共同募金委員会 事務局主事 小野綾乃

少子高齢化や人口減少により、共同募金の減少は避けられず、その中で助成を希望する団体は多様化してくると思われる。限られた財源を有効に活用するには、選別(選択)が必要であり、第6分科会で学んだ情報の①お知らせ②報告③感謝④お願いを通して継続的に募金を受けることができるようにしていきたい。自分自身の反省点として、共同募金の仕組みに不明な点が多くあったため、活動を通して学び行動していければと思う。

酒田市社会福祉協議会 主事 佐藤一佳

今回の第14回赤い羽根全国ミーティングについて参加をさせて頂き誠にありがとうございました。今回参加をさせて頂き、社会福祉協議会の方々だけでなく、共同募金委員会の方や地域福祉活動を行っている方など、様々な分野で、第一線で活躍されている方々のお話を伺うことができ、とても良い学びとなりました。

分科会では①新任、④助成を受けさせていただき、①新任では昨年全国ミーティングに参加し、そこで学んだことを1年間活かした先輩方のお話をお伺いし、④では様々な福祉基金を活用している事例をお伺いしました。特に、予算の関係から新しい事業を立ち上げられない状況だった市社会福祉協議会の方が、赤い羽根福祉基金を用いることで地域の方々の声に寄り添えたという話を伺いし、とても参考になりました。

こうした赤い羽根共同募金の活動を地域の方々にお伝えし、募金活動にも力を入れていきたいと考えております。

酒田市共同募金委員会 菊地亨輔

「ありがとう」メッセージを送付 いただく場合の注意

各共同募金委員会から事業実施報告を送付してもらうにあたり、「ありがとうメッセージ」と「写真」を添付してもらうこととしております。

しかしながら、募金会によっては写真をPDFで送付してくるところがあり、その場合ホームページや公式Xで情報発信することが極めて困難になります。

については、受配団体等に対して写真は必ずデ

ータで送付するよう事前に徹底をお願いします。

「ありがとう」を言うのは、募金してくれた方に対してであり「募金はこのように役立てられている」「助かっている」という情報に触れることは「また募金しよう」という思いには不可欠なものとなるはずです。

助成する際には事前に丁寧に説明して理解してもらえるようにご協力をお願いいたします。

ありがとうございました



「愛ちゃん」の着ぐるみお貸します

中央共同募金会の助成を受け、昨年度「愛ちゃん」の着ぐるみを一体新調しました。

これにより募金活動がはじまる10月から、希望の募金委員会に貸出いたしますので、担当(渋谷)までお気軽にご相談ください。

貸し出しに当たっては、①原則募金委員会から取りに来てもらい、使用後に速やかに返却し

てもらう。②早いもの順とする。③汚れが著しい場合は募金委員会でクリーニングすることを基本ルールとします。

なお、従前どおり当共同募金会からの愛ちゃん派遣も継続して実施しますので、併せてご相談ください。



テーマ型募金を勧めてみませんか？

テーマ型募金は、①児童健全育成、②母子・寡婦福祉、③高齢者福祉、④知的障がい者福祉、⑤身体障がい者福祉、⑥生活困窮者支援、⑦難病者支援の7つのテーマで、団体自らが募金活動を行う「やる気はあるが、資金調達で困っている」という団体にはピッタリな制度です。

8月末までの募集期間となっていますので、やる気のある団体には是非勧めてください。

テーマ型募金は、「山形県共同募金会に対する募金なので信用を得やすい」「募金者は免税措置を受けることができる」「頑張り次第で多くの募金を集めることができる」「目標額を達成した場合は、共同募金会から目標額の1/2を加算」などのメリットがあります。

地域課題テーマから選んで寄付できます



地域課題解決のためのテーマ型募金